

# カワイ ピアノ グレードテスト 課題の捉え方・課題例

併せて、『カワイグレードテスト受験のために〔課題例集〕ピアノ・音楽教育篇』（カワイ出版）をご参照ください。

## 【演奏グレード】

### ●課題曲＜6級・5級・4級・3級＞

J.S.バッハの作品におけるポリフォニックなスタイルの体得、つまり各声部を意識し、聴きながら演奏できることは重要な音楽の基礎であると考え、課題として設定する。演奏の技術はもちろんのこと、テンポ感、和声感、様式感などの様々な要素をとらえて演奏で表現する能力を問う。

### ●自由曲＜6級・5級・4級・3級＞

受験者の意志による選曲により、得意とする領域で個性が十分に発揮され则认为、課題として設定する。なお、ピアノグレードテストはクラシック音楽のグレードテストであるため、ポップス（ジャズ、ミュージカルを含む）は不可とする。

＜6級・5級＞

楽譜に記された諸要素（音、テンポ、拍子、リズム、強弱、アーティキュレーション、音楽用語）を正しく読み取り、音楽の流れを崩すことなく暗譜で通奏する能力を問う。

＜4級・3級＞

6・5級で求められる能力に加え、楽曲の形式やスタイル、和声や調の変化、各声部のバランス、フレージング、ペダリング等への意識をもって、暗譜で通奏する能力を問う。また、受験者自らが選んだ楽曲に対し、演奏表現としての完成度を高めているかを問う。

### ●伴奏づけ＜6級・5級・4級・3級＞

あるメロディに対し、背景にある和音を感じられることは、音楽的な演奏に必要なものであると考え、課題として設定する。

調性感や和声感を備えているかを問う。

＜6級＞

#### 1. メロディ&ベース

和音記号とベースの関係を正しく認識し、演奏をする能力を問う。

(例)

次のメロディ、和音記号と冒頭のパターンに基づき、右手でメロディを、左手でベースを演奏しなさい。

Moderato

F:I IV II V

#### 2. コード&ベース

コードネームを正しく認識し、演奏する能力を問う。

(例)

次のコードネームと冒頭のパターンに基づき、右手でコードを、左手でベースを演奏しなさい。

Moderato

Am E7 F Dim G7

<5級>

1. メロディ&ベース

和音記号とベースの関係を正しく認識し、演奏する能力を問う。

(例)

次のメロディ、和音記号と冒頭のパターンに基づき、右手でメロディを、左手でベースを演奏しなさい。

Moderato

D:I IV<sup>2</sup> I V<sup>7</sup> I IV II<sup>1</sup> V

2. コード&ベース

コードネームを正しく認識し、演奏する能力を問う。

適切な和音連結を施す能力を問う。

(例)

次のコードネームと冒頭のパターンに基づき、右手でコードを、左手でベースを演奏しなさい。

Andantino

G C D7 D<sup>#</sup>dim7 Em

<4級>

メロディから適切な和音や伴奏形を導き出し、演奏する能力を問う。

適切な和音連結、完全終止、変終止などを施す能力を問う。

メロディから非和声音を見分ける能力を問う。

(例)

次のメロディに伴奏をつけて演奏しなさい。ただし和音記号のある箇所は、指示どおりに演奏すること。

Moderato

D<sup>7</sup> D<sup>#</sup>dim7

<3級>

メロディから適正な和音、転調を導き出し、演奏する能力を問う。

適切な和音連結、完全終止、変終止などを施す能力を問う。

メロディから適切な伴奏形を導き出し、演奏する能力を問う。

※課題例は省略する。

●オリジナルプログラム<2級・1級>

自らの着想によりプログラムを構成し、ピアノリサイタルを行うために必要な能力を問う。多様なピアノ作品についての知識と理解、作品を選びプログラムとしてまとめる構想力、作品から捉えた音楽を聴衆に伝える演奏力等がポイントになる。

# カワイ ピアノ グレードテスト 課題の捉え方・課題例

併せて、『カワイグレードテスト受験のために [課題例集] ピアノ・音楽教育篇』(カワイ出版)をご参照ください。

## 【指導グレード】

### ●筆記<6級・5級・4級>

音楽の指導者に必要な知識や能力を問う。

#### <6級>

クラシック音楽を中心とした音楽に関連する知識を問う。

※課題例は省略する。

#### <5級>

クラシック音楽を中心とした音楽に関連する知識を問う。

※課題例は省略する。

#### <4級>

##### 1. スコアリーディング

オーケストラや室内楽のスコアに関する知識を問う。

スコアに用いられている記号、ジャンル、楽器などについての知識を備えているかを問う。

※課題例は省略する。

##### 2. ピアノ譜作成

和音記号とコードネームを正しく認識しているかを問う。

和声進行についての正しい知識を備えているかを問う。

メロディ、和音記号、コードネームから適切な内声部を導き出す能力を問う。

適切な和音連結を施す能力を問う。

パターンから適切な伴奏形を導き出す能力を問う。

### (例)

次のメロディ、和音記号、コードネーム、各所のパターンに基づき、  
左手部分を [ ] に、内声部を★のある [ ] に書きなさい。

Andante

B<sup>b</sup> B<sup>b</sup>/D E<sup>b</sup> E<sup>b</sup>m B<sup>b</sup>/D D7 E<sup>b</sup> F7

B: I I<sup>1</sup> IV c-IV I<sup>1</sup> V<sub>7</sub> IV V<sub>7</sub>

B<sup>b</sup> B<sup>dim</sup>7 Cm C<sup>b</sup>/E<sup>b</sup> B<sup>b</sup>/F F7 B<sup>b</sup>

I V<sub>9</sub> II c-II<sup>1</sup> I<sup>2</sup> V<sub>7</sub> I

●和声<6級・5級・4級>

4声体和声における各声部の動きを理解する能力、対旋律的な音楽の流れを感じ取る能力を問う。

<6級>

和音記号を正しく認識しているかを問う。

適切な和音連結を施す能力を問う。

(例)

次の和音記号つき外声課題（前半部分）及びバス課題（後半部分）を4声体として完成させなさい。

F: I V<sup>1</sup> I VI II<sup>1</sup> V VI IV II I<sup>2</sup> V I IV<sup>2</sup> I

<5級>

和音記号を正しく認識しているかを問う。

適切な和音連結を施す能力を問う。

(例)

次の和音記号つき外声課題（前半部分）及びバス課題（後半部分）を4声体として完成させなさい。

a: I V<sup>1</sup> I II<sup>1</sup> V I<sup>1</sup> V<sup>2</sup> I V I<sup>1</sup> V<sup>1</sup> V<sup>2</sup> I<sup>1</sup> II<sup>1</sup> I<sup>2</sup> V, I

<4級>

音楽の動きから適切な和音を導き出す能力を問う。

適切な和音連結を施す能力を問う。

(例)

次の外声課題（前半部分）及びバス課題（後半部分）を4声体として完成させなさい。

## カワイ ピアノ グレードテスト 課題の捉え方・課題例

### ●聴音<6級・5級>

音楽の指導者に必要な音楽聴取能力を問う。また楽譜を正確に記述する能力を問う。

#### <6級>

2声によるピアノ曲からメロディのみを聴き取る能力を問う。

※課題例は省略する。

#### <5級>

2声によるピアノ曲から対位的な動きを聴き取る能力を問う。

※課題例は省略する。

#### 【実施方法】<6級・5級共通>

調・拍子・主和音が直前に提示される。

1. 通 奏：1回

2. 前半のみ：3回

3. 通 奏：1回

4. 後半のみ：3回

5. 通 奏：1回

それぞれ15秒間隔。5.の終了後は1分間の回答時間を設ける。

### ●楽曲分析<3級>

ピアノ曲の楽譜から、調性および関係調、カデンツ、非和声音、モチーフの使われ方、フレーズの盛り上げ方、和声の変化の仕方など、さまざまな角度から音楽を捉える能力を問う。

※課題例は省略する。

### ●ピアノ譜作成<3級>

和音記号を正しく認識しているかを問う。

和声進行についての正しい知識を備えているかを問う。

適切な和音連結を施す能力を問う。

パターンから適切な伴奏を導き出す能力を問う。

和音進行から適切なメロディ、内声部を導き出す能力を問う。

※課題例は省略する。

### ●初見奏<4級・3級>

音楽を楽譜からの確に捉える能力、また音楽的に表現する能力を問う。

#### <4級>

調性に則った音楽を楽譜から捉え、表現する能力を問う。

#### (例)

予見の後、次の楽譜を演奏しなさい。



#### <3級>

変化する拍子、調性音楽からやや逸脱する内容を含んだ音楽を楽譜から捉え、表現する能力を問う。

※課題例は省略する。